無題**のページ** Page 1 of 1

全至誠館大学

ID: 1376

D: 1376								
科目名	総合演習Ⅱ【26年度生用】		コード					
英語表記	Business workshop II							
担当教員名	山下 秀輔			年度	平成2	6年度		
基準年次	3年次	開講期	後期		単位数	2	2	
授業形態	演習	授業形式			履修形態			
	•	授	受業概要			•		
前期で総合資題にそった学	寅習 I を履修したのち後期で総合 習を行う。		が望ましい。各自	日の進路に沿っ	て自主研究を	すすめると共口	こ、毎回の記	
企業人として [。]	備えるべきビジネス知識(常識)			自主研究をす	すめ、必要な	知識を蓄える。		
	T		養業計画					
第1回	後期授業の進め方前期学習のふりかえりと後期の取り組み方							
第2回	キャリアマネージメント 課題の理解と問題演習							
第3回	仕事の原点 "							
第4回	ビジネス会話	"						
第5回	クレーム対応	"						
第6回	接客•営業	"						
第7回	ビジネス・プレゼンテーション "							
第8回	チームワークとヒューマン・ネットワーク "							
第9回	仕事のマネジメント "							
第10回	仕事の進め方	"						
第11回	計画・スケジュール管理	"						
第12回	問題解決力と論理的思考 "							
第13回	ビジネス文書作成 "							
第14回	情報収集とメディアの活用 "							
第15回	まとめ							
評価方法と基準				評価項目と割合(%)				
出席を含め授	業への積極的な取り組み姿勢	、および練習問題等	出席	授業態度	レポート	期末試験	その他	
	ょり評価する。 欠席が目だったり は、期中でも履修を中止させるの		が	40	60			
授業外学習				テキスト、教材				
	目主研究が前提であるから、各目 我を持って望んでもらいたい。	自の進路について明	必要に応じて	てプリントを配布				
	参考書		受講生へのメッセージ					
「ビジネス能力 一刊	↑検定2級テキスト」 日本能率↑	茘会マネジメントセン	ター流の社会	人、企業人を目	指そう!			
		+	ーワード					
企業は人なり								